

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS × KANDA

### ゴール 6 「安全な水とトイレを世界中に」

#### 6 安全な水とトイレを世界中に



蛇口をひねればきれいな水が出ること、どこにでも衛生的なトイレがあることは決して当たり前のことではありません。世界では、安全に管理された水を使うことができない人が約 20 億人、衛生的なトイレを使うことができない人が約 36 億人いるといわれています。特に途上国ではインフ

ラ整備が進んでおらず、糞便や有害物質が含まれた水を処理しないまま飲み水や生活用水として利用していることも多く、人々の健康に大きな被害を与えています。NPO や企業により下水道の整備や衛生的なトイレの設置などの支援が行われていますが、まだ十分とは言えません。人と水は切っても切り離せない関係にあり、安全な水とトイレの確保を実現しなければ多くの命が失われ、世界の豊かさや未来まで損なわれることになるのです。

#### 苧田町の取り組みは？

#### 快適で潤いのある生活環境のために

苧田町の水道事業は、昭和 30 年に水道水の供給を開始しました。その後、計画的に水道管や浄水場などの整備を進め、令和 2 年度末時点で、町民の 96.9%の方が水道を利用できる状況となっています。近年は、新たな水道管の整備に加え、将来にわたり安定した給水を行うために古くなった水道管の取替えも行っていきます。



▲苧田町の水道水の約 70%を作っている二崎浄水場

公共下水道事業は、平成 7 年に整備を始め、令和 2 年度末時点で、町民の 52.2%の方が公共下水道を利用できる状況となっています。農業集落排水事業は、平成 18 年度に片島地区、平成 28 年度に白川南部地区の方が利用できるようになりました。

また、公共下水道や農業集落排水が整備されていない地域の水洗化を促進するため、合併処理浄化槽の補助金を交付しており、補助金を利用して年間約 70

基の合併処理浄化槽が設置されています。現在、町民全体の約 92%の方が公共下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽のいずれかを利用できる状況となっていますが、令和 7 年度の 95%を目標に整備を進めています。

限りある水資源を有効に活用し、快適な生活環境づくりと川や海の水質を守るため、今後も上水道と下水道の整備を行っていきます。



▲家庭から出る汚れた水をきれいにする片島処理場

#### わたしたちにできることは？

「水」は、人が生きていくうえで欠かすことのできない「資源」です。そして、「有限」であることも忘れてはいけません。まずは、私たち一人ひとりが水の使い方を見直す必要があります。

#### ▼具体的な取組

- 蛇口をこまめに閉める
- トイレの水を流すときに大小のレバーを使い分ける
- 台所から油を流さないなど、水を汚さないようにする